

## 第4回 学習活動の基礎知識(1)

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

### 前回の宿題

自分で宣言した「2つの工夫」をした実際のノートを紹介してみましょう。

- どの科目でもよいので、実際にどの程度工夫ができたかを説明
- 各自のノートを持ち寄って、情報交換してみましょう

前回と今回のゼミを通じて、あらためて、これから実際に取り組んでみるノートテイキングの工夫を2つ宣言しましょう。

宣言(1)	
宣言(2)	

宣言した工夫がどのくらいできたか、また改善すべきところがあるか、次回説明してもらいます。

### 前回の復習「学習のスキル」

- 学習活動とは
  - 基礎的知識(大学での学修、ノートの活用、資料の活用、事実と意見の区別など)
  - 学習スキル(ノートの取り方、テキストの読み方、資料の検索、要約の仕方など)
- ノートテイキング(ノートの作り方)
  - 大学の授業スタイルの違い
  - 優れたノートの作り方の例(7つのポイント)
  - ノートの取り方のポイント(レイアウトの工夫、図解の活用、文房具の活用など)

### 発想を“見える化”して広げる

大学の図書館と公立の図書館とでは、どんな違いがあるでしょうか。

それぞれの図書館の特徴などを、思いつくままにリストアップしてみましょう。発想を広げたり、考えを整理したり、系統だてて考えるときに使うことができる、発想方法を利用してみましょう。

#### マインドマップ

色やイラストを取り入れながら、頭の中のイメージを紙の上に表現する思考技術に、「マインドマップ」があります。

マインドマップのポイントは、1つのテーマについて連想して思い浮かんだことを、短い言葉や絵でそのまま紙に書きだして、枝が放射状に伸びていくように、次々と広げていくことです。

いくつかのマインドマップを描いてみて、特定のテーマについて発想を広げたり整理してみましょう。

1. 多色ペン(色鉛筆やボールペンも可)と横長の大きめの紙(A4サイズ以上)を用意する。
2. 紙の真ん中に、テーマを代表するようなイメージやキーワードを描く。色は3色以上使う。

3. 真ん中のイメージから太い枝を伸ばすように何本か描く。それぞれの枝には真ん中のイメージから連想されるキーワードやイメージを1つ描く
4. 伸ばした太い枝の先から、さらに枝を何本か伸ばす。元の枝のイメージに関連するキーワードやイメージを自由に描く。枝の先から新たな枝をつなげて伸ばしながら、木の枝のようにのびやかに広げていく。伸ばすたびに枝はだんだん細くなる。
5. 離れた枝にあるイメージがお互いに関連があるようなら、線でつないだり、ひとまとまりの枝を枠(雲型)で囲む。

#### 参考文献

---

- トニー・ブザン, バリー・ブザン著, 神田昌典訳「ザ・マインドマップ」, ダイアモンド社 (2005.11).
- 森時彦, ファシリテーターの道具研究会「ファシリテーターの道具箱」, ダイアモンド社 (2008.03).
- 石井力重「アイデア・スイッチ」, 日本実業出版社 (2009.07).

## 次回(5月8日): 「学習活動の基礎知識(2)」

---

次の2つの宿題について、それぞれ、A4用紙1枚でまとめておく。(次回の授業のはじめに提出)

- (1) 「自分の出身地」または「大学入学から1ヵ月の出来事」のどちらかをマインドマップにまとめる
- (2) 自宅(下宿先)の近隣の公立図書館に行ってみる
  - 図書館の名前、場所、雰囲気、特徴、貸出冊数、利用の条件などを調べておく